（参考様式4）

目標達成計画

事業所名　グループホーム藤城の家

作成日：令和 7 年 11 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	普段の生活のなかで、その時々に感じられるお一人おひとりの個別の要望にすぐに柔軟に対応して実現することができていない。	職員が予め企画立案するのではなく、スーパーのチラシを見て食べたいと言われるものを買いに行ったり、「いいお天気」と言われた日に散歩するなど、ご利用者が日々の暮らしのなかで表される希望や要望、その日の暮らし方の意向を柔軟に実現する。	取り組みの日時だけ予め決めておいて、当日や、その日までにご利用者が話されていた希望を実現する。どうすれば実現できるか、ご本人と職員皆と一緒に相談し、柔軟に考えて実現する。	6ヶ月
2	17	サービス担当者会議にご家族に参加していただけていない。	サービス担当者会議（ケアプランカンファレンス）にご家族に参加していただき、ご利用者の様子や支援内容について共有する。ご利用者、ご家族の生活に対する思いを多くの職員が直接お聞きできる機会とする。	（ケアプラン更新のタイミングを目安にして）毎月お一人についてサービス担当者会議を開催し、ご家族に呼びかけて参加していただく機会を作る。 会議の事前準備として、サービス評価の個別票に取り組み現状のご利用者の生活を振り返る。	1ヶ月
3	9	利用者に運営推進会議に参加していただくことができた。ただし、利用者の意見、要望を十分に聞く機会をもうけて支援することができていない。 現在ご家族に運営推進会議に参加していただけていない。	利用者に運営推進会議に参加してもらうなかで、利用者の意見を引き出せるような支援をする。 ご家族にも運営推進会議に参加していただく。	運営推進会議において、利用者に生活の満足度や困りごとについて職員が尋ねるようにする。他の会議参加者の質問を伝えるなどしてコミュニケーションの支援をする。	6ヶ月
4	12 13	外部研修など、他の事業所の同業者と交流できる機会に参加できていない。	外部研修や地域密着協の研修、また事例検討会などに多くの職員が参加できるようにする。	事例検討会も含めて、毎月交代で職員が外部研修に参加できるように調整する。	6ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。